

### 3. 水循環小委員会の今後の進め方について

水循環小委員会の特徴として、

- 扱う分野が多岐にわたる
  - テーマによっては高度な専門知識が必要になる
- ことなどが挙げられる。

後者は水循環小委員会に限ったことではないが、分野の広さが相まって小委員会の中での合意形成が図りづらい面がある。

ただし、水・物質循環系の保全是、湿原の保全に直結する重要なテーマであり、また、流域の水・物質循環メカニズムの把握は、他の施策の手法検討や評価を行う上で重要な検討課題である。

そこで、今後は各分野の専門家に水循環に関する取り組みを紹介いただき、釧路川流域の特性、現状や課題などについての共通認識を持ち、水・物質循環系の保全のための取り組みについての討議を深めていくこととする。

#### **流域の水・物質循環系について**

##### 第1回目

- テーマ：釧路湿原の水循環について

発表者：(独)北海道開発土木研究所 環境研究室長 中津川 誠

##### 2回目以降のテーマ(案)

- 流域の水理地質構造、地下水涵養と湿原の地下水位について
- 河川・湖沼の水質、水・物質循環に関する諸情報について
- 水・物質循環系の保全を図るための具体的な対策と課題について